

議員提出議案第 1 号

令和 4年 2月 21日

姫路市議会議員	井 上 太 良
同	中 西 祥 子
同	山 崎 陽 介
同	竹 尾 浩 司
同	阿 山 正 人
同	三 和 衛
同	井 川 一 善
同	森 由紀子
同	三 木 和 成
同	金 内 義 和

2023年主要国首脳会議にかかる関係閣僚会合の姫路市開催を求める
決議について

2023年主要国首脳会議にかかる関係閣僚会合の姫路市開催を求める決議を別紙
のとおり決議したい。

2023年主要国首脳会議にかかる関係閣僚会合の姫路市開催を求め る決議

本市は、平成17年3月に全国50都市目の国際会議観光都市に認定されており、MICE誘致の取組みを積極的に進めているところである。令和3年9月には、本市の新たなにぎわいと交流の拠点としてアクリエひめじが開館し、アクリエひめじでの初めての国際会議として同年10月に開催された第72回WHO西太平洋地域委員会では、会議参加者から一人の感染者を出すこともなく、コロナ禍による厳しい制約の中で会合を成功裏に終えるなど、着実に実績を積み上げてきている。

昭和27年以来、本市は、全国107自治体が加盟する一般財団法人太平洋戦全国空爆犠牲者慰霊協会の事務局を担っており、昭和31年には、手柄山中央公園内に「二度と戦争はしない」という誓いを込めた太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔が建立され、以降、毎年、同慰霊塔の下で全国の空爆犠牲者に鎮魂の祈りを捧げる追悼平和祈念式を開催するなど、戦後間もない頃から平和行政の取組みを継続している。

また、本市は、海外姉妹都市6都市を有するほか、姫路城とフランスのシャンティイ城、イギリスのコンウィ城は姉妹城であり、ドイツのノイシュバンシュタイン城とは観光友好交流協定を締結しており、主要国首脳会議構成国との交流も盛んに行っている。

このような状況の中、姫路城が我が国で初めての世界遺産に登録されてから30周年を迎える令和5年には、主要国首脳会議が日本で開催される予定である。主要国首脳会議にかかる関係閣僚会合が本市で開催されることになれば、築城以来、不戦の城と言われて平和の象徴である姫路城をはじめとする本市の伝統文化や産業等の魅力を世界に発信する絶好の機会となり、本市の地域経済の活性化や知名度向上などが期待され、本市にとって大きな意義があると言える。

よって、姫路市議会は、主要国首脳会議にかかる関係閣僚会合の姫路市開催を強く要望する。

以上、決議する。

令和 4年 2月21日

姫 路 市 議 会